

第112回 学長定例記者会見

日時：令和元年8月26日（月）11：00～11：30

場所：広島大学 霞キャンパス 臨床管理棟2階 2F2会議室

※テレビ会議システムによる配信は行わない

※YouTubeによる録画配信を実施

【発表事項】

1. 大学院人間社会科学研究科及び大学院先進理工系科学研究科の
令和2年4月設置が決定しました
2. 『『地方国立大学』の時代-2020年に何が起こるのか』（中公新書ラクレ）
に広島大学が取り上げられました

【お知らせ】

1. 「たおやかで平和な共生社会創生プログラム」東京セミナーを開催します
「Toward a flexible, enduring, peaceful society
—観光ビジョン、ロボティクス、自動運転が作る日本の未来—」
2. 第7回広島大学フェニックスリレーマラソンを開催します

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：令和元年9月下旬

場所：広島大学 東広島キャンパス

令和元年 8 月 26 日

大学院人間社会科学研究科及び大学院先進理工系科学研究科の
令和 2 年 4 月設置が決定しました

広島大学が文部科学省に提出した大学院人間社会科学研究科及び大学院先進理工系科学研究科の設置報告書が、8 月 23 日付で受理されました。これにより 2 研究科の令和 2 年 4 月設置が決定しました。今後、本格的に学生募集活動を展開します。

大学院人間社会科学研究科は、人間と社会のための諸科学の追求と、教育による持続可能で平和な世界の構築を目指すという 2 つのミッションを有し、人間や社会に関する深い見識と専門分野以外への強い関心を持ち、自然科学や生命科学を含む他分野の専門家と協働して将来の人類社会を創造する人材を育成します。

人間社会科学研究科の専攻は、人文社会科学専攻(博士課程前期(257 人)、博士課程後期(85 人))、教育科学専攻(博士課程前期(163 人)、博士課程後期(50 人))、教職開発専攻(教職大学院)(専門職学位課程(30 人))、実務法学専攻(法科大学院)(専門職学位課程(20 人))の 4 専攻とし、

- ・人文社会科学専攻(博士課程前期・博士課程後期)は 8 学位プログラム(人文学プログラム、心理学プログラム、法学・政治学プログラム、経済学プログラム、マネジメントプログラム、国際平和共生プログラム、国際経済開発プログラム、人間総合科学プログラム)
- ・教育科学専攻(博士課程前期・博士課程後期)は 4 学位プログラム(教師教育デザイン学プログラム、教育学プログラム、日本語教育学プログラム、国際教育開発プログラム)
- ・教職開発専攻(専門職学位課程)は 1 学位プログラム(教職開発プログラム)
- ・実務法学専攻(専門職学位課程)は 1 学位プログラム(実務法学プログラム)

で構成しています。

この新研究科設置により、従来の研究科の枠に限定されない様々な分野の学生、文化や宗教さらには解決を目指す課題が異なる留学生や日本人学生が共通の場で学ぶことによって、学生の視野が広がり、専門分野や国籍等の違いを越えて相互にコミュニケーションをとる意欲と能力が培われることが可能となります。

大学院先進理工系科学研究科は、専門分野における知識や能力を深めるだけでなく、国際性や学際性、社会実践能力を養う教育を行います。これにより、幅広く深い教養とともに、理学、工学又は情報科学及びこれらに関連する研究領域において、高度な専門性を核としながら、多分野との融合的理解力を身に付け、社会の課題解決に取り組むことのできる人材を育成します。

先進理工系科学研究科の専攻は、先進理工系科学専攻（博士課程前期（449人）、博士課程後期（128人））の1専攻とし14学位プログラム（数学プログラム、物理学プログラム、地球惑星システム学プログラム、基礎化学プログラム、応用化学プログラム、化学工学プログラム、電気システム制御プログラム、機械工学プログラム、輸送・環境システムプログラム、建築学プログラム、社会基盤環境工学プログラム、情報科学プログラム、量子物質科学プログラム、理工学融合プログラム）で構成しています。

この新研究科設置により、学生が自らの専門分野における知識や能力を深めるだけでなく、多分野への融合的理解や、地域社会・国際社会に貢献するための基盤となる能力を身に付けることが可能となります。

【お問い合わせ先】

広島大学 総合戦略室 総合戦略グループ TEL：082-424-4580 FAX：082-424-6007

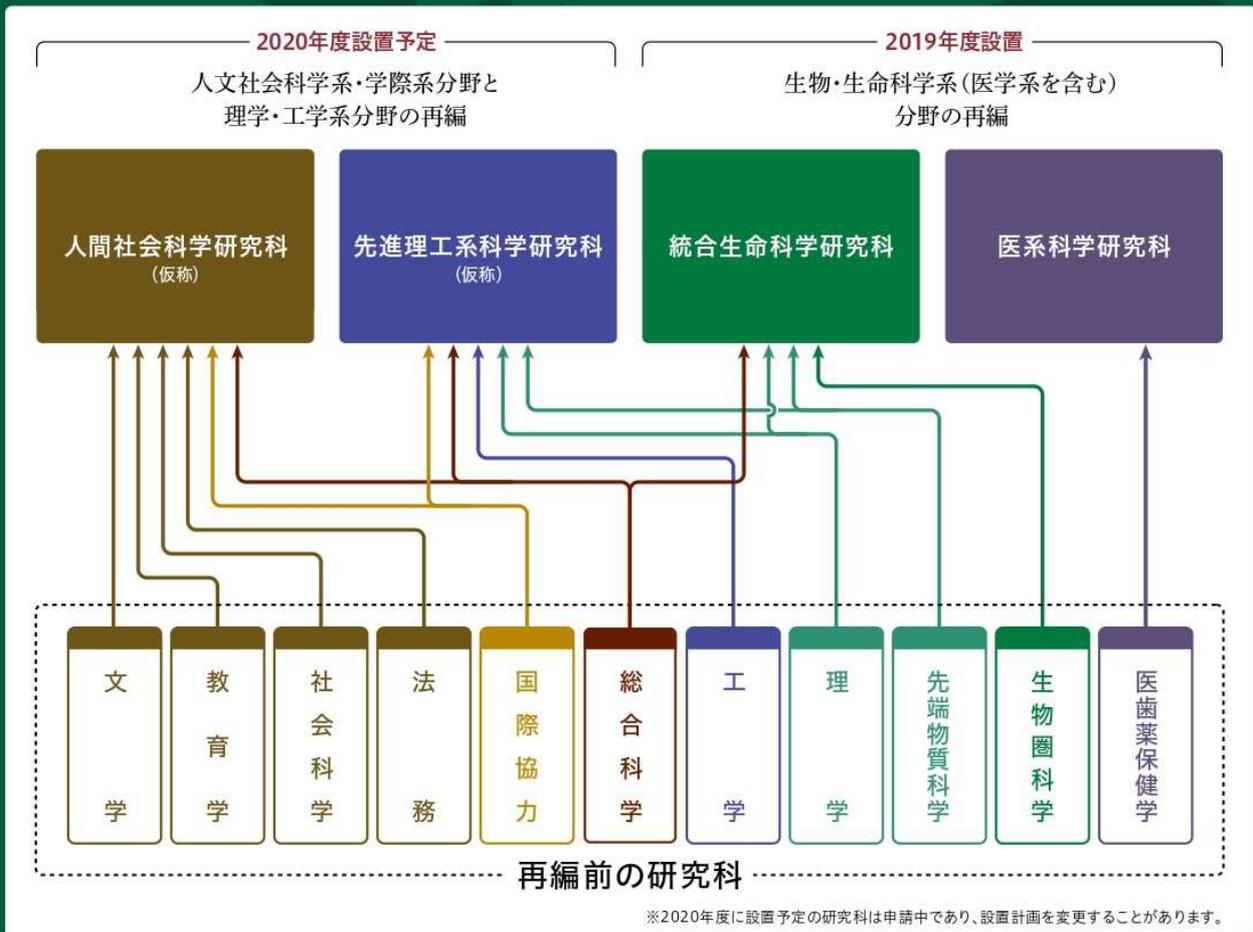
世界水準の総合研究大学へ

..... 躍進する広島大学の現在^{いま}

学際的・融合的研究を実現する、新たな研究科に再編

「持続可能な発展を導く科学」を实践する グローバルな教育研究拠点を目指す大学院改革

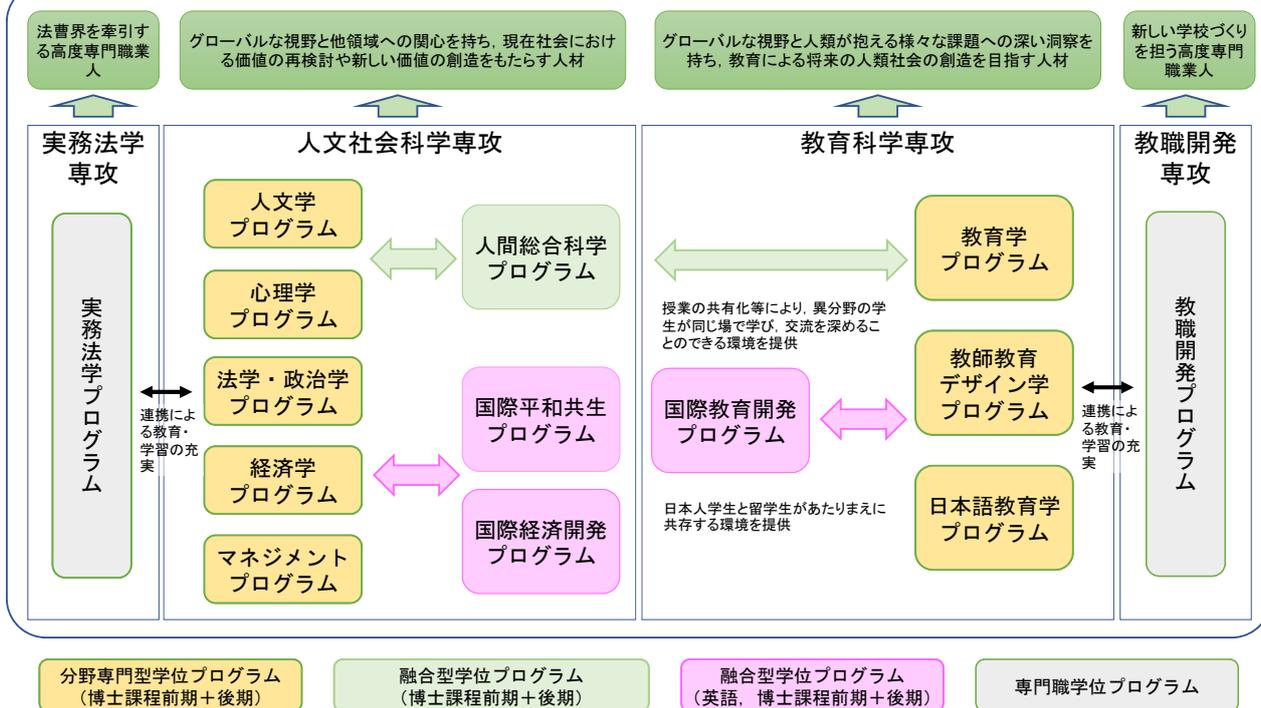
広島大学は、2017年4月に、新長期ビジョン「SPLENDOR (Sustainable Peace Leader Enhancement by Nurturing Development of Research) PLAN 2017」を策定、公表しました。このビジョンにおいて、「これまで以上に、人間、社会、文化、食料、環境、自然の持続性に関連する全ての既存の学問領域を包含し、平和の構築に限りなくチャレンジし、働きかける新しい平和科学の理念『持続可能な発展を導く科学』の創生を目指した活動を展開し、100年後にも世界で光り輝く大学としての責務を果たす」ことを宣言しています。「持続可能な発展を導く科学」を实践する世界的な教育研究拠点を構成するとともに、持続可能で平和な共生社会の実現に貢献する新たな知識や価値の創造、イノベーション創出を担う人材の育成を広島大学大学院のミッションとし、実現するため大学院改革に取り組んでいます。



人間社会科学研究所の学位プログラム

人間や社会に関する深い見識と専門分野以外への強い関心を持ち、自然科学や生命科学を含む他分野の専門家と協働して将来の人類社会を創造する人材の育成

人間社会科学研究所

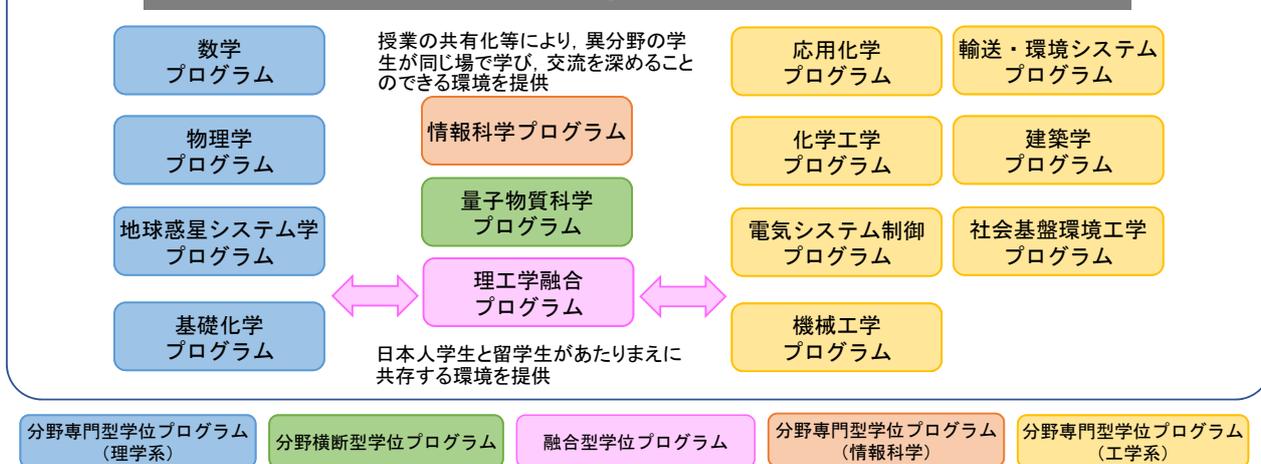


先進理工系科学研究科の学位プログラム

先進理工系科学研究科

幅広く深い教養とともに、理学、工学又は情報科学及びこれらに関連する研究領域において、高度な専門性を核としながら、多分野との融合的理解力を身に付け、社会の課題解決に取り組むことのできる人材

先進理工系科学専攻 (博士課程前期+後期)



人間社会科学研究科

養成する人材像

人間社会科学研究科

人間と社会のための諸科学の追求と、教育による持続可能で平和な世界の構築を目指すという2つのミッションを有し、人間や社会に関する深い見識と専門分野以外への強い関心を持ち、自然科学や生命科学を含む他分野の専門家と協働して将来の人類社会を創造する人材を育成する。

人文社会科学専攻

ア 博士課程前期

グローバルな視野と他領域への関心を持ち、持続可能で平和な世界の構築を目指して、現在社会における価値の再検討や新しい価値の創造をもたらす人材を育成する。

i 人文学プログラム

幅広く深い学識と、知識の応用・分析・評価を的確に行う方法とを身に付け、それらを統合して新たな創造につなげることが出来る基礎力を有するとともに、専門分野における研究能力を基盤とした高度な専門性を必要とする職業を担うための十分な能力を備えた人材

ii 心理学プログラム

心理学各領域の多様な視点から人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる能力、現代社会における人間の心に関する課題を認識し、それらを解決するための資質を有し、人間の心理に関するさまざまな事象及び諸課題に関する研究を推進できる人材。特に心理学先端研究コースでは、人間の行動とその根底にある心理過程の解明に、科学的に、かつ、認知・生理、社会、教育・学習、発達・幼児、臨床等の心理学各領域の多様な観点からアプローチでき、様々な心の問題に関する先端的な研究を国内外で推進できる研究者。臨床心理学実践・研究コースでは、臨床心理学の実践活動に重点を置き、心理学の多様な観点から実証的研究を行い、高度な臨床実践を担う実践家、実証的な研究力・開発力を身に付けた高度専門職業人

iii 法学・政治学プログラム

法学、政治学、国際関係論、社会学等の社会科学領域について、専門的かつ学際的な知識、現代の国内・国際社会がかかえる事例分析及び社会調査等に関する知見・手法、具体的な社会問題等の解決に向けた事例・現状分析及び戦略立案目標の策定に関する知見・手法を修得している人材

iv 経済学プログラム

社会科学の一翼を担うため、経済学を主要なツールに急展開を見せる経済システムや社会システムに着目し、社会に貢献するという志を持ち、直面する様々な問題を、積極的にかつ能動的に解決できる能力を備えた研究者及び高度専門職業人

v マネジメントプログラム

①地域の経済、社会、文化における独立心あるいは起業心とそれを行動に

移す能力

②様々な組織の運営にかかわる専門的な知識と能力

③情報化・グローバル化に対応する交渉能力を有し、ネットワークを構築・運用できる能力

④アジアの日系企業で活躍する日本型マネジメント能力

博士課程前期においては、これらの基盤的知識や能力を活かし、職場等で実践できる人材

vi 国際平和共生プログラム

国際社会が抱える様々な問題に対して、紛争解決、平和構築などを専門としつつ、学際的な研究アプローチによって、研究能力又は高度な専門性を要する職業等に必要能力、創造的・協働的に取り組むことができる能力を有するグローバルな研究者・高度専門職業人

vii 国際経済開発プログラム

経済発展・貧困削減・環境保全などの開発途上国の開発課題に対し、健全な経済発展を推進するための理論と分析手法の習得を通じて、持続可能な開発に資する処方箋を作成し、実践できる人材

viii 人間総合科学プログラム

中核となる専門分野の知識や方法論に加え、幅広い分野にわたる知識と複合的視点を有している高度職業人。学問分野の枠を超えて多角的・鳥瞰的視点から現象の分析を行い、解決に向けて複数分野の専門家と協働することができるリサーチマネージャー。企業や行政等が直面している諸問題に対して、特定の専門分野に加え、解決に向けて他分野と協働し的確に対応することのできる人材

イ 博士課程後期

グローバルな視野と他領域への関心を持ち、持続可能で平和な世界の構築を先導するリーダーとして、現在社会における価値の再検討や新しい価値の創造をもたらす人材を育成する。

i 人文学プログラム

幅広く深い学識と、知識の応用・分析・評価を的確に行う方法とを身に付け、それらを統合して新たな創造につなげることが出来る高度な研究力を有し、専門分野において卓越した研究成果を上げるに十分な能力を備えた人材

ii 心理学プログラム

心理学各領域の多様な視点から人間の行動とその心理過程に科学的にアプローチできる能力、現代社会における人間の心に関する課題を認識し、それらを解決するための資質を有し、人間の心理に関するさまざまな事象及び諸課題に関する先端的な研究を推進できる人材。特に、博士課程前期の心理学先端研究コースと臨床心理学実践・研究コースにおいて培われた多様な視点に立つ研究力、臨床実践力を基盤として、さらに研究力を伸長することにより、心理学各領域の先端的な研究を国内外で推進できる研究者、及び、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働などの現場で活動しつつ国内外で研究を推進できる高度専門職業人

iii 法学・政治学プログラム

法学、政治学、国際関係論、社会学等の社会科学領域について、博士課程

前期又は修士課程での研究実績を踏まえたうえで、さらなる専門知識や分析手法を修得し、事例や課題等についての新たな発見・解明を行い、新たな概念設定や理論的視点の提供等により高度専門職業人としての能力を持つ、又は研究者として自立し、高度で先端的、独創的な専門研究能力を備えている人材

iv 経済学プログラム

経済システムや社会システムの直面する様々な問題を、積極的かつ能動的に解決できる能力を修得し、専門分野の高度な分析ツールの実践的能力を身に付け、また、周辺分野についても深く理解している研究者及び高度専門職業人

v マネジメントプログラム

- ①地域の経済、社会、文化における独立心あるいは起業心とそれを行動に移す能力
- ②様々な組織の運営にかかわる専門的な知識と能力
- ③情報化・グローバル化に対応する交渉能力を有し、ネットワークを構築・運用できる能力
- ④アジアの日系企業で活躍する日本型マネジメント能力

博士課程後期においては、これらの基盤的知識や能力に加え、学術的知見と応用的知見を身に付け、理論と実践の融合を図れる研究者及び教育と研究の現場で実践できる人材

vi 国際平和共生プログラム

国際社会が抱える様々な問題に対して、紛争解決、平和構築などを専門としつつ、学際的な研究アプローチによって、研究者として自立的に研究を行う能力と国際的で高度に専門的な業務に従事するために必要な専門性及び、創造的・協働的に取り組むことができる能力を有するグローバルな研究者及び高度専門職業人

vii 国際経済開発プログラム

経済発展・貧困削減・環境保全などの開発途上国の開発課題に対し、健全な経済発展を推進するための理論と分析手法の習得を通じて、持続可能な開発に資する処方箋を作成し、さらに実践を先導する研究者及び高度専門職業人

viii 人間総合科学プログラム

中核となる深い専門性に加え、関連領域についての幅広い知識と方法論を有する多角的視野と理解力を有している研究者。学問分野の枠を超えて多角的・鳥瞰的視点から現象の分析を行い、解決に向けて複数分野の専門家と協働する研究チームのリーダーとして活躍することのできるリサーチマネージャー。企業や行政等が直面している諸問題に対して、深い専門性と広い知識をベースに、他分野の専門家と協働して的確に課題解決のできる能力を有する人材

教育科学専攻

ア 博士課程前期

グローバルな視野と人類が抱える様々な課題への深い洞察を持ち、教育による将来の人類社会の創造を目指す人材を育成する。

i 教師教育デザイン学プログラム

これからの社会で求められる教育のあり方を、(a) 学びが成り立つ場（空間）、(b) 学びを引き出す仕掛け（カリキュラム・学習材）、(c) 学びを支える人（専門職）に着目し、デザインできる教師教育者（teacher educator）。

特に、学校で育成すべき学力、教育課程・教科教育と指導・評価法、特別活動、ICT 環境、学校・教室の経営、対人関係支援や学習支援等の現状と課題を分析し、エビデンスに基づいて教育改革のビジョンを構想、提案できる実践的研究力を有する教師教育者

ii 教育学プログラム

教育に関する高度な識見と総合的な判断力を有する人材。

具体的には、博士課程後期進学者、公・民で働く教育関係分野の専門家、高等教育機関の教育・運営に実践的に貢献する人材

iii 日本語教育学プログラム

国内外の教育機関や職域で増加の一途をたどる多様な日本語学習者（子どもから大人まで）の学習ニーズに対応し、それぞれの教育現場で先導的な役割を担うことをとおして、グローバル社会の持続・発展に貢献することができる日本語教育の実践的研究者

iv 国際教育開発プログラム

国際社会が抱える様々な問題に対して、生涯にわたる質の高い教育の実現を専門としつつ、学際的な研究アプローチによって、研究能力又は高度な専門性を要する職業等に必要な能力、創造的・協働的に取り組むことができる能力を有するグローバルな研究者及び高度専門職業人

イ 博士課程後期

グローバルな視野と人類が抱える様々な課題への深い洞察を持ち、社会のリーダーとして教育による将来の人類社会の創造を先導する人材を育成する。

i 教師教育デザイン学プログラム

これからの社会で求められる教育のあり方を、(a) 学びが成り立つ場（空間）、(b) 学びを引き出す仕掛け（カリキュラム・学習材）、(c) 学びを支える人（専門職）に着目し、戦略的にデザインできる教師教育者（teacher educator）

特に、大学の教職課程プログラム、公立校・附属校の実習指導、学校現場における授業研究（lesson study）、教育センターの研修プログラム等の現状と課題を分析し、エビデンスに基づいて代替のストラテジーを構想、実践できる実践的研究力を有する教師教育者

ii 教育学プログラム

教育に関する総合的な学識に裏打ちされた高度な研究能力を有し、教育能力をもつとともにその能力開発を推進できる人材。

具体的には、教育学の研究者、大学の教職課程を担う教員、高等教育機

関の教育・運営に貢献する人材

iii 日本語教育学プログラム

日本語教育及び日本語・日本文化に関する高度な専門的知識と研究能力を有し、国内外の高等教育機関に日本語教育者として就職し、第二言語としての日本語の教育を推進・発展させるとともに、外国語・外国文化という観点から、日本語・日本文化に関する研究を行うことができる、またそのような研究プロジェクトの中心的役割を担うことができる人材

iv 国際教育開発プログラム

国際社会が抱える様々な問題に対して、生涯にわたる質の高い教育の実現を専門としつつ、学際的な研究アプローチによって、研究者として自立的に研究を行う能力と国際的で高度に専門的な業務に従事するために必要な専門性及び、創造的・協働的に取り組むことができる能力を有するグローバルな研究者・高度専門職業人

教職開発専攻（教職大学院）

教職開発プログラム

新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員，新しい学校づくりの中心となるミドル・リーダー，これからの学校づくりをけん引し指導的な役割を果たし得るスクールリーダー等の高度専門職業人

実務法学専攻（法科大学院）

実務法学プログラム

一つ一つの紛争の解決及び事前予防が家庭，社会，ひいては世界の平和・平穩を導くとの自覚を持った，主体性のある学びによって，①「学修の転移・活用（transfer of learning）」のプロセスを経た，高度な専門的法律知識を紛争解決の場面に応用し，状況に応じて適切かつ柔軟に運用できる思考力と判断力，②法の定めや先例がない利害対立状況でも，自ら原理原則を選択し妥当な利害調整策を探求し構築できる，創造性に富んだ法的思考力，③充実した法的サービスと法的支援の求めに応える「国民の社会生活上の医師」としての，人間や社会に対する深い洞察力と理解力，並びに④高度専門職業人（プロフェッション）としての職責を深く自覚し，日々の活動を真摯に自省しながら，知性を錬磨し日々研鑽を継続する力を兼ね備え法曹界を牽引する高度専門職業人

先進理工系科学研究科

養成する人材像

1) 博士課程前期

先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻では、専門分野における知識や能力を深めるだけでなく、国際性や学際性、社会実践能力を養う教育を行う。これにより、幅広く深い教養とともに、理学、工学又は情報科学及びこれらに関連する研究領域において、高度な専門性を核としながら、多分野との融合的理解力を身に付け、社会の課題解決に取り組むことのできる人材を養成する。

ア 数学プログラム

数学において、その専門分野における高度な研究能力及び専門能力を修得し、数学における幅広い学識を有し、専門知識の応用、分析、評価ができ、さらにそれらを統合して創造できる能力を備えた研究者及び教育者並びに数学者等と連携して課題解決に取り組むことのできる技術者を養成する。また、産業界や他の科学分野に生じる数理的課題に取り組むことのできる高度な専門的能力を修得した研究者を養成する。

イ 物理学プログラム

自然科学の基盤学問としての物理学について、宇宙物理学・天文学、素粒子・原子核物理学、また、先端光源を利用した物性物理学と放射光科学の幅広い専門的知識と真理を探究する手法を修得し、広い視野と柔軟な思考力、研究・開発に携わる能力を備え、社会の課題解決に貢献できる研究者、教育者及び高度専門技術者を養成する。

ウ 地球惑星システム学プログラム

地球惑星科学に関連する基礎的又は応用的な諸分野において、国際的に通用する専門知識と研究能力を身に付けたうえで、広い視野を持って社会に貢献できる研究者、教育者及び高度専門技術者を養成する。

エ 基礎化学プログラム

基礎化学に関する専門知識と実験技術を有し、幅広い視野を持って先端的研究を推進し、社会の課題解決に貢献できる研究者及び高度専門技術者を養成する。また、基礎化学に関する専門的知識及び識見を有し、普遍的な化学の法則や基本原理を未来へ継承することができる教育者を養成する。

オ 応用化学プログラム

物質の物性・構造・反応性等の分子レベルでの解析、及び機能性新物質の設計・開発を通じて新しい化学システムに結びつける能力と広い分野への理解力

を有するとともに、環境に安全な分子・反応の設計から環境調和型プロセスの開発に至る化学的なアプローチを通じて社会に貢献できる研究者及び高度専門技術者を養成する。

カ 化学工学プログラム

化学及び化学工学に関わる知識をベースとして、ローカル及びグローバルな視点からの課題発見と問題解決能力を身に付け、次世代の化学産業を始めとする製造業の発展を担える高度専門技術者及び研究者を養成する。

キ 電気システム制御プログラム

大規模・複雑化したシステム、人間と有機的に統合されたシステム等、社会を支えるさまざまな実システムを、システム工学の観点から効果的に運用するための幅広い基礎知識及び最新の技術・応用に関する専門知識を修得し、高度な技術を先導できる高度専門技術者及び研究者を養成する。

ク 機械工学プログラム

機械工学に関する専門的知識とその工学的応用に関する幅広い知識と教養を有し、狭い専門性にとらわれない広い視野を持って、グローバルな視点から次世代機械技術の設計・製造、及び新時代の機械システムの最適化、高機能化、知能化の研究開発を遂行できる研究者及び高度専門技術者を養成する。

ケ 輸送・環境システムプログラム

輸送システム工学や環境システム工学に関する基礎から応用までの幅広い知識をベースに、人工物である輸送機器等と自然環境とが調和した共生システムを構築・創造でき、他の専門分野との融合的理解を実現しながら総合的に社会の課題解決に取り組むことのできる高度専門技術者及び先進的な研究を遂行できる研究者を養成する。

コ 建築学プログラム

建築物の計画、構造、意匠、環境、材料、生産及び都市計画に関する専門知識とそれらを統合する実践的能力を持ち、建築物の使用者や社会のニーズに応えるための技術開発や各種活動を、国内外において実施できる高度専門技術者及び研究者を養成する。

サ 社会基盤環境工学プログラム

社会基盤環境工学に関する幅広い知識と高い倫理観、使命感を有し、国内外の社会基盤の整備・維持、防災、環境保全を先導できる技術系行政官、高いマネジメント能力とグローバルな視点をもとに国内外の社会基盤の課題解決に対応できる高度専門技術者、及び、社会基盤の整備、防災、地球・地域環境の保全に資する最先端技術の開発を担う研究者を養成する。

シ 情報科学プログラム

インフォマティクスとデータサイエンスの知識とスキルを土台として、先端的研究・開発の場において高度な技術を社会的・学際的課題に対して実践する能力を備えるとともに、チームの一員として研究・開発を推進できる優れた資質を持つ国際色豊かな高度専門技術者及び研究者を養成する。

ス 量子物質科学プログラム

物質基礎科学、物性物理学、物性工学、電子工学の専門知識を身に付け、またこれらを、社会が求める新しい機能を有する物質・材料・デバイス・システムの創成・設計・実現に応用することで、国際社会や地域社会に貢献できる研究者、教育者及び高度専門技術者を養成する。

セ 理工学融合プログラム

自然指向型、人間指向型の視点を理解し、国内はもとより国際舞台で活躍することのできる、自然環境・自然災害、総合物理、情報システム環境、開発技術などの中核となる専門分野及び関連分野の研究能力と専門知識・技能及び学際的な視野を身に付けた研究者、教育者、あるいは多様な文化の理解力とグローバルな洞察力を基盤にした俯瞰的な視野と問題解決能力を有する行政官及び高度専門職業人を養成する。

2) 博士課程後期

先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻では、専門分野における卓越した知識や能力、さらに、国際性や学際性、社会実践能力を養う教育を行う。これにより、幅広く深い教養とともに、理学、工学又は情報科学及びこれらに関連する研究領域において、高度な専門性を核としながら、多分野との融合的理解力を身に付け、次世代のリーダーとして世界水準の学術研究の推進やイノベーションの創出を担う人材を養成する。

ア 数学プログラム

数学において、その専門分野における卓越した研究能力及び専門能力を修得し、数学における幅広い学識を有し、専門知識の応用、分析、評価ができ、さらにそれらを統合して創造できる能力を備えた研究者及び教育者並びに数学者等と連携して課題解決に取り組むことのできる技術者を養成する。また、国際的な視野に立った学識を備え、数学分野における研究を自立して遂行でき、産業界や他の科学分野に生じる数理的課題に取り組むことのできる高度な専門的能力を修得した研究者を養成する。

イ 物理学プログラム

自然科学の基盤学問としての物理学について、宇宙物理学・天文学、素粒子・

原子核物理学，また，先端光源を利用した物性物理学と放射光科学の幅広い専門的知識と真理を探究する手法を修得し，広い視野と柔軟な思考力，国際的な舞台上で研究・開発に携わる卓越した能力を備え，社会の課題解決に貢献できる研究者，教育者及び高度専門技術者を養成する。

ウ 地球惑星システム学プログラム

地球惑星科学に関連する基礎的又は応用的な諸分野において，国際的に通用する高度な専門知識と卓越した研究能力を身に付けたうえで，広い視野を持って社会に貢献できる研究者，教育者及び高度専門技術者を養成する。

エ 基礎化学プログラム

基礎化学に関する高度な専門知識と実験技術を有し，グローバルな問題を見通す幅広い視野を持って先端的研究を推進し，社会の課題解決に貢献できる研究者・高度専門技術者を養成する。また，基礎化学に関する高度な専門的知識及び識見を有し，普遍的な化学の法則や基本原理を未来へ継承することができる教育者を養成する。

オ 応用化学プログラム

新しい機能性物質や新エネルギーの創製能力と広い分野への理解力をベースとして，より高い視点から社会の課題を解決できる実践的な研究開発能力や独自の研究計画の策定能力や国際性を身に付けた，指導者としても活躍できる研究者及び高度専門技術者を養成する。

カ 化学工学プログラム

化学及び化学工学に関わる高度な知識をベースとして，ローカル及びグローバルな視点からの課題発見と問題解決能力を身に付け，国際的に活躍できる次世代の化学産業を始めとする製造業の発展を担える高度専門技術者及び研究者を養成する。

キ 電気システム制御プログラム

大規模・複雑化したシステム，人間と有機的に統合されたシステム等，社会を支えるさまざまな実システムを，システム工学の観点から数理学的基礎に基づいて解析，設計，制御及び運用するための新しい方法論の開発を担い，人類が未経験の課題に対してもグローバルな視点を持って分野横断的・組織的に対応できる高度専門技術者，研究者及び教育者を養成する。

ク 機械工学プログラム

機械工学に関する高度な専門的知識とその工学的応用に関する幅広い知識と教養を有し，狭い専門性にとらわれない広い視野を持って，グローバルな視点から次世代機械技術の設計・製造，及び新時代の機械システムの最適化，高

機能化, 知能化の先進的で高度な研究開発を先導できる研究者及び高度専門技術者を養成する。

ケ 輸送・環境システムプログラム

輸送システム工学や環境システム工学に関する基礎から応用までの幅広い知識をベースに, 人工物である輸送機器等と自然環境とが調和した共生システムを構築・創造でき, 他の専門分野との融合的理解を実現しながら総合的に社会の課題解決に取り組むことのできる高度専門技術者及び最先端の研究を遂行できる研究者を養成する。

コ 建築学プログラム

建築物の計画, 構造, 意匠, 環境, 材料, 生産及び都市計画に関する専門知識とそれらを統合する実践的能力を持ち, 建築物の使用者や社会のニーズに応えるための技術開発や各種活動を, 国内外において指導者の立場で実施できる高度専門技術者, 研究者及び教育者を養成する。

サ 社会基盤環境工学プログラム

社会基盤環境工学に関する幅広い知識と問題解決能力を有し, 国や地域の社会基盤の整備・維持, 防災を担う中核的技術系行政官, 高い技術力とマネジメント能力をもとに国内外の社会基盤の課題に総合的に対応できる建設技術者, 自然環境の保全・再生技術の新産業分野を拓く環境技術者等の高度専門技術者及び研究者と, 社会基盤環境工学の分野において, 高い使命感のもとに, 地球環境保全に向けて期待される新たな専門性の創造, 個別具体的な課題の発見と解決, 国際的先端科学技術の発展への貢献ができる研究者及び教育者を養成する。

シ 情報科学プログラム

インフォマティクスとデータサイエンスの知識とスキルを土台として, 先端的研究・開発の場において高度な技術を社会的・学際的課題に対して実践する能力を備えるとともに, リーダーシップをとって研究・開発を推進できる優れた資質を持つ国際色豊かな高度専門技術者及び研究者を養成する。

ス 量子物質科学プログラム

物質基礎科学, 物性物理学, 物性工学, 電子工学の専門知識を身に付け, また, これらを社会が求める新しい機能を有する物質・材料・デバイス・システムの創成・設計・実現に応用することで, 国際社会や地域社会に貢献できる創造的な研究者, 教育者及び高度専門技術者を養成する。

セ 理工学融合プログラム

自然指向型, 人間指向型の視点を理解し, 国内はもとより国際舞台で活躍す

ることのできる、自然環境・自然災害、総合物理、情報システム環境、開発技術などの中核となる専門分野及び関連分野の研究能力と専門知識・技能及び学際的な視野を身に付け新たな学術を切り拓く研究者、教育者、あるいは多様な文化の理解力とグローバルな洞察力を基盤にした俯瞰的な視野と問題解決能力を有する国際水準の行政官及び高度専門職業人を養成する。



令和元年 8 月 26 日

『地方国立大学』の時代-2020 年に何が起こるのか
(中公新書ラクレ) に広島大学が取り上げられました

この度、教育ジャーナリストである木村 誠氏が、国立大学を取り巻く現状と最新の動向を整理した新書を出版し、その中で特に「地方」から「世界」の大学になるべく改革を進めている広島大学の取り組みを追い、その未来を提言しています。

広島大学のチャレンジが分かりやすく紹介され、高校生の質問にも本学の教員が答えしています。

【新書に関する情報】

タイトル： 「地方国立大学」の時代-2020 年に何が起こるのか
著 者： 木村 誠 氏 (教育ジャーナリスト)
体 裁： 新書、219 ページ
価 格： 950 円 (税込)
出版社： 中央公論新書
発売日： 2019 年 8 月 7 日

【目次】

(第 1 章)

平成と大学 30 年で何が変わったのか

(第 2 章)

国立大学の今-現場で何が起きているのか

(第 3 章)

2020 年地方国立大学による「日本復活」が始まる

(第 4 章)

広島大学の挑戦-「地方」から「世界」の大学になるため

(第 5 章)

広島大学への問い-高校生の夢をどのように叶えるか



【お問い合わせ先】

財務・総務室
広報部 山内
TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6180



令和元年 8 月 26 日

「たおやかで平和な共生社会創生プログラム」東京セミナーを開催します
「Toward a flexible, enduring, peaceful society
—観光ビジョン、ロボティクス、自動運転が作る日本の未来—」

広島大学大学院博士課程教育リーディングプログラム「たおやかで平和な共生社会創生プログラム（通称：たおやかプログラム）」が東京でセミナーを開催します。たおやかプログラムは、世界の条件不利地域の多文化共生課題を解決する人材の育成を目指した 5 年一貫の博士プログラムです。

セミナーでは、「たおやかで平和な共生社会」の創生に必要な文化、技術、社会の 3 つの学際領域を各教授が研究紹介するとともに、プログラム修了生が在学中のプロジェクト経験などを発表します。またセミナー終了後に、参加者とプログラム学生・教員との交流会を実施します。

セミナー参加は無料です。たおやかプログラム及び地域・国際協力に興味を持つ皆様にお越し頂きますよう、よろしくお願い致します。

記

- 【日 時】2019 年 9 月 19 日（木）14：00～16：30
【場 所】キャンパスイノベーションセンター東京 2 階 多目的室 1
（東京都港区芝浦 3-3-6）
【言 語】日本語（英語への同時通訳あり）
【対 象】首都圏を中心とした企業・学術機関のご担当者、広島大学出身者、
ご関心のある一般の方々
【参 加 費】無料
【申込方法】セミナーウェブページよりオンライン参加登録してください。
当日参加も受付けます。
<http://taoyaka.hiroshima-u.ac.jp/news/6628/>
【内 容】
14：00 ～ たおやかで平和な共生社会創生プログラムの概要説明
14：20 ～ 研究紹介
● How will international tourism influence less-favored areas in Japan?
フンク カロリン（文化創生コース、総合科学研究科・教授）
● ロボティクス, VR, AI 技術を活用した高齢化社会の運動アシスト
栗田 雄一（技術創生コース、工学研究科・教授）
● 自動運転技術が条件不利地域を救う？
藤原 章正（プログラムコーディネーター、社会実装コース、国際協力研究科・教授）
15：20 ～ プログラム修了生の発表
15：40 ～ プログラム生の募集について
16：00 ～ 交流会（16：30 閉会）

【お問い合わせ先】

広島大学たおやかプログラム事務室
TEL：082-424-6152 FAX：082-424-6954
e-mail：taoyaka-program@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学大学院

た
お
や
か
TAOYAKA

たおやかで平和な共生社会 創生プログラムセミナー

Toward a flexible, enduring, peaceful society

— 観光ビジョン、ロボティクス、自動運転がつくる日本の未来 —

日時 2019 9/19 Thu. 14:00 -16:30

場所 キャンパスイノベーションセンター東京
2階 多目的室1

〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 田町駅(芝浦口)徒歩1分
参加費無料・英語への同時通訳有



メッセージ：プログラムコーディネーター

たおやかプログラムは「たおやかで平和な共生社会」の創生を目指す5年一貫の博士プログラムです。文系や理系を問わず、様々な国籍の学生と一緒に学んでいます。学生は、国内外の高齢化や貧困、格差など様々な困難に直面するコミュニティとともにその解決に取り組み、自らの高度な専門性を磨きあげるとともに、世界を俯瞰する視野とバランス感覚を身につけます。

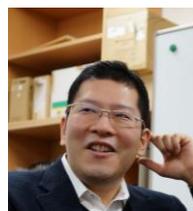
本セミナーでは、「たおやかで平和な共生社会」の創生に必要な文化・技術・社会の3つの学際領域からの最新研究のほか、プログラム生が取り組んでいる活動を紹介し、セミナー後には、プログラムの教員や学生と交流する機会もあります。是非ご参加下さい。



藤原 章正
国際協力研究科・教授



フंक カロリン
総合科学研究科・教授



栗田 雄一
工学研究科・教授

プログラム

14:00 たおやかで平和な共生社会創生プログラムの概要説明

14:20 研究紹介

- How will international tourism influence less-favored areas in Japan?

フंक カロリン (文化創生コース、総合科学研究科・教授)

- ロボティクス, VR, AI技術を活用した高齢化社会の運動アシスト

栗田 雄一 (技術創生コース、工学研究科・教授)

- 自動運転技術が条件不利地域を救う?

藤原 章正 (プログラムコーディネーター、社会実装コース、国際協力研究科・教授)

15:20 プログラム修了生の発表

15:40 プログラム生の募集について

16:00 交流会 (16:30閉会)



オンライン参加登録はこちらから

<http://taoyaka.hiroshima-u.ac.jp/news/6628/>



Hiroshima University
Graduate School

た
お
や
か
TAOYAKA

TAOYAKA Program

Toward a flexible, enduring, peaceful society

- shaped with tourism vision, robotics, and autonomous driving -

Date

2019 9/19 Thu. 14:00 -16:30

Venue

Campus Innovation Center Tokyo
Multipurpose Room 1, Second floor

3 Chome 3-6, Shibaura, Minato-ku, Tokyo (A minute walk from Tamachi Sta.)

Admission Free/Simultaneous translation provided in English



Professor
Akimasa Fujiwara

Message from Program Coordinator

TAOYAKA Program is a five-year Ph. D. program that aims to foster future global leaders who contribute to designing a flexible, enduring, peaceful society. In this program, multinational students from different disciplines enhance their expertise and gain broad perspectives through working along with local communities to figure out solutions to solve the issues such as aging societies, poverty, and various disparities. I hope you will grasp the idea of TAOYAKA Program through the research introduction by 3 professors of the Program and our students' research activities. We are also looking forward to interact with you at the networking session.

Program

14:00 Introduction of TAOYAKA Program for creating a flexible, enduring, peaceful society

14:20 Research in Progress

- How will international tourism influence less-favored areas in Japan?

Prof. Carolin Funck, Cultural Creation Course, Graduate School of Integrated Arts and Sciences

- Physical assistive system using robotics, VR, and AI technology

Prof. Yuichi Kurita, Technical Creation Course, Graduate School of Engineering

- Can self-driving technology save disadvantaged areas?

Prof. Akimasa Fujiwara, Social Implementation Course, Program Coordinator, Graduate School for International Development and Cooperation

15:20 TAOYAKA graduate's Presentation

15:40 Call for Future TAOYAKA students

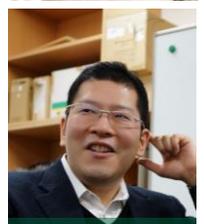
16:00 Networking Session (until 16:30)

Register online from
Taoyaka Program Website

<http://taoyaka.hiroshima-u.ac.jp/news/6629/>



Professor
Carolin Funck



Professor
Yuichi Kurita

令和元年 8 月 26 日

第 7 回広島大学フェニックスリレーマラソンを開催します

広島大学体育会主催による「第 7 回広島大学フェニックスリレーマラソン」を 10 月 14 日（月・祝）の体育の日に開催します。

9 つの参加部門を設け、2 名～10 名で構成するチームでたすきをつなぎ、広島大学キャンパス内の約 1.6 km の特設コースを 4 時間でどれだけ周回できるかを競います。

150 チームで熱いレースを繰り広げます。皆様の温かい応援をお待ちしています。

なお、持参・郵送・FAX での募集締切は年 9 月 6 日（金）までです。ご参加をお待ちしています。

記

- 【日 時】 令和元年 10 月 14 日（月・祝） ※小雨決行
- 【場 所】 広島大学東広島キャンパス
- 【募集定員】 150 チーム（1 チーム：2～10 人、1,100 人程度）
※コースの安全確保のため、規定の団体数に達し次第、募集を締め切ります。
- 【参加料】 一般の方 2,000 円／人
高校生以下 1,000 円／人
- 【参加資格】 老若男女、学内外を問わず出場可能。ただし、健康であり、長時間の運動を行っても支障がない方に限ります。
- 【参加申込】 大会パンフレットの参加申込書に必要事項をご記入の上、持参郵送もしくは FAX によりお申し込みいただくか、インターネット（<http://runnet.jp>）よりお申し込みください。
- 【募集締切】 インターネット 令和元年 9 月 2 日（月）
持参・郵送・FAX 令和元年 9 月 6 日（金）
- 【大会 HP】 <http://home.hiroshima-u.ac.jp/husa1rm/husa/relaymarathon/index.html>

【お問い合わせ先】

広島大学体育会窓口
TEL・FAX:082-424-9217

Link!

未来を、地域を、仲間をつなぐ



第7回広島大学 フェニックスリレーマラソン

10.14 mon

会場：広島大学東広島キャンパス
(約1.6km)

主催 広島大学体育会

募集締切

インターネット 令和元年 9月2日(月)

持参・郵送・FAX 令和元年 9月6日(金)

1. 競技内容

4時間
リレーマラソン

2名~10名で構成するチームでたすきをつなぎ、広島大学東広島キャンパス内の特設コース(約1.6km)を4時間(4時間を超えてのたすき渡しはできません)でどれだけ周回できるかを競います。

2. 大会実施要項

■開催日/令和元年10月14日(月・祝)
※悪天候による中止の場合は大会当日の午前6時に大会HPにてお知らせいたします。

■開催場所/広島大学東広島キャンパス内
(東広島市鏡山1丁目)

■スケジュール(予定)

10月13日(日)

16:00 前日受付(18:00まで)

10月14日(月・祝)

7:30 当日受付(8:30まで)

9:00 開会式・チーム代表者会議

10:00 競技開始

14:00 競技終了

15:00 閉会式

16:00 解散

■募集期間

募集開始:令和元年7月1日(金)

募集締切:インターネット 令和元年9月2日(月)
持参、郵送、FAX 令和元年9月6日(金)

■お申し込みについて

右ページをご参照ください。

■表彰/9部門

各部門上位3チームは閉会式にて表彰を行います。入賞チームにはご協賛各社より副賞があります!

(A) 一般の部	年齢・性別・所属を問わないチーム
(B) 小学生の部	小学生のみで構成されたチーム ※ただし教師または保護者が3名までチームに加わることは認める。
(C) 中高生の部	中高生のみで構成されたチーム
(D) ファミリーの部	家族のみで構成されたチーム
(E) なでしこの部	女性のみで構成されたチーム
(F) 地域の部	東広島市民または東広島市在住の方のみで構成されたチーム
(G) 企業チームの部	同じ企業に所属するメンバーのみで構成されたチーム
(H) OB・OGの部	広島大学のOB・OGのみで構成されたチーム
(I) 広大的部	広島大学に在学中の学生・教職員のみで構成されたチーム

(A)~(I)のいずれかの部にエントリーしてください。複数に該当するチームはどれか一つを選んでください。
1チームの構成人数は2名~10名とします。

本大会では上記の賞に加え、特別賞として以下の賞を設けます。
<特別賞>

パフォーマンス賞 大会を通して印象に残り、大会を盛り上げたチーム ※全参加チームから3チームを決定します。

■申込規定及び誓約項目

【申込規定】

1. 競技者の大会中での自己責任を明確にするため、申し込みされた全ての参加者は誓約項目に同意し、申し込みを行ったとみなします。
2. 個人が複数のチームで参加することはできません。
3. 申込書の個人情報、本大会に関わる業務及び今後の大会情報案内を送付させていただく際に使用いたします。参加される方の同意無しに第三者へ開示・提供することはありません。

【誓約項目】大会申し込みの際に参加者は以下の誓約事項に同意の上、お申し込みください。

1. 主催者は参加者全員を対象にスポーツ傷害保険に一括加入いたしますが、保険適用外は自己負担とします。また、大会中における盗難・紛失や傷病、不慮の疾病・事故等による処置は、応急処置を除いて一切の責任を負いません。
2. 振込後の自己都合による種目変更、キャンセルはできません。不参

■募集定員

150チーム(1,100名程度)

※コースの安全確保のため、規定の団体数に達し次第、募集を締め切ります。

■参加料

一般	2,000円
高校生以下	1,000円
体育会(賛助)会員	1,200円

※参加料には、大会中のケガ等を保障する傷害保険の掛け金が含まれます。
※エントリーは参加料の振込をもって完了となります。

■出場資格

老若男女、学内外を問わず出場可能です。ただし、健康であり、長時間の運動を行っても支障がない方に限ります。

※広島大学の学生及び教職員は、東広島キャンパス・霞キャンパスにて健康診断を行います(8月・9月を予定しております。)ので必ず受診してください。詳しくは大会HPをご覧ください。

■その他

大会当日は駐車場に限りがございますので公共交通機関をご利用ください。

貴重品の管理は各自で行ってください。主催者は、盗難・紛失などの責任は一切負いません。

ゴミは各自でお持ち帰りください。

加、過剰入金、重複入金は返金いたしません。

3. 氏名・年齢・性別等の虚偽申告、申込者本人以外の出場等の不正出場は認められません。その場合は出場を取り消します。
4. 地震・風水害・事件・事故等による中止、または悪天候による中止及び上記3の場合や、振込後のキャンセルについては、参加料の返金はいたしません。
5. 大会中の映像・写真・記事・記録等のテレビ・新聞・雑誌・インターネットなどへの掲載権・肖像権は主催者に属します。
6. 決められた場所以外への立入りは禁止いたします。
7. 高校生以下の参加については、保護者の同意を得て参加してください。
8. 有事の際(救急事案等)は運営本部にのみ、ご連絡をお願いいたします。運営本部より、各所に連絡手配いたします。

3. 申し込み方法

申し込み方法には以下の2通りの方法があります。いずれかを選んでお申し込みください。
受付完了後9月下旬にチーム代表者宛てに大会詳細を記載した書類（競技規定及び大学へのアクセス等）を郵送にてお届けします。

A インターネット

申込締切日 令和元年9月2日(月)

パソコンまたは携帯電話等から下記の URL にアクセスし、大会エントリーページの指示に従って
お申し込みください。支払方法は、お申し込みの際にお選びいただけます（クレジットカード、
コンビニ、ATM など）。※エントリー手数料が別途かかります。



<http://runnet.jp> 「ランネット」で検索

B 参加申込書の持参・郵送・FAX

申込締切日 令和元年9月6日(金)

次の①、②の手順でお申し込みください。

- ①申込規定を参加者全員が同意の上、以下の「第6
回広島大学フェニックスリレーマラソン 参加申
込書」に必要事項を記入し、持参・郵送・FAX の
いずれかの方法で広島大学体育会窓口へ提出して
ください。

郵送、FAX による受付先

〒739-8514

東広島市鏡山1-7-1

広島大学フェニックスリレーマラソン実行委員会宛

TEL・FAX：082(424)9217

- ②右に指定する口座へ参加人数に応じた参加料の振
込を行ってください。
振込をもって申し込み完了となりますので必ず期
限内に行ってください。

振込先 : 広島銀行西条南支店

支店コード・口座番号 : 支店コード207 口座番号3271329

普通預金

受取人氏名 : 広島大学フェニックスリレーマラソン
実行委員会

振込期限 令和元年9月6日(金)迄

振込人

: **※必ず参加申込書に記入したチーム代表
者様が振込をおこなってください。**

※振込に際しては手数料が別途必要となりますが、個人負担でお願い
します。

振込の際の控等は、リレーマラソン終了時まで大切に保管してください。

切り取り線

第7回 広島大学フェニックスリレーマラソン 参加申込書

出場区分 ※該当部分に必ず○を つけてください	(A) 一般の部	(B) 小学生の部	(C) 中高生の部		
	(D) ファミリーの部	(E) なでしこの部	(F) 地域の部		
	(G) 企業チームの部	(H) OB・OGの部	(I) 広大の部		
(フリガナ) チーム名					
所属団体名					
代表者	(フリガナ) 氏名				
	住所	〒			
	電話番号	自宅等	携帯		
メンバー表	※氏名は楷書で丁寧にお書きください				
	氏名	フリガナ	年齢	性別	体育会会員番号
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

振込金額 一般 人×2,000円

高校生以下 人×1,000円

体育会(賛助)会員 人×1,200円 合計 円

誓約項目に参加者全員が
同意した上でチェック

※出場区分は該当する部門に丸を付けてください。複数に該当するチームはどれか一つを選んでください。
未記入又は複数に記入している場合、部門別の受賞資格を与えないことがあります。

なお、メンバーの数字は走る順番とは関係ありません。

※誓約項目に同意したことを示すチェック欄にチェックがなければ参加できません。

第7回広島大学フェニックスリレーマラソンコース図

- ・コース全長約1.6km
小さなお子様からご年配の方まで、どなたでも走りやすい距離になっています！
- ・大学キャンパスの校舎群と自然の両方をお楽しみいただけます！

お問合せ

広島大学体育会窓口

住所：東広島市鏡山1丁目7-1

TEL・FAX：082(424)9217

E-mail：marathon@sitehusa.xsrv.jp

営業時間：9:30～17:00(土・日・祝日を除く)

(※夏季休業中は月・水・金の11:00～15:00のみ)

ホームページ

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/>

husa1rm/husa/relaymarathon/index.html

